

nord drum 3P

modeling percussion synthesizer

ユーザー・マニュアル

日本語

Nord Drum 3P

OS Version: 1.x

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

マークについて

製品には下記のマークが表示されています。

WARNING:
TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK DO NOT EXPOSE THIS PRODUCT TO RAIN OR MOISTURE.



マークには次のような意味があります。



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘記号は、禁止(してはいけないこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制(必ず行うこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

- 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。感電やショート恐れがあります。
- 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。
- 次のような場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。
 - 電源コードやプラグが破損したとき
 - 異物が内部に入ったとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき

- 本製品を分解したり改造したりしない。
- 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。

- 電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、電源コードの上に重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)で使用や保管はしない。
- 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ホコリの多い場所で使用や保管はしない。



● 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。



● 雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。

● 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。

● 本製品に液体をこぼさない。



● 濡れた手で本製品を使用しない。

注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります



- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- 電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。



● 本製品を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。電源スイッチをオフにしても、製品は完全に電源から切断されていません。



● 付属の電源コードは他の電気機器で使用しない。付属の電源コードは本製品専用です。他の機器では使用できません。

● 他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線しない。本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。

● スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。故障の原因になります。

● 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーを使用しない。

● 不安定な場所に置かない。

● 本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

● 本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。本製品が落下または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

● 本製品の隙間に指などを入れない。お客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

● 地震時は本製品に近づかない。

● 本製品に前後方向から無理な力を加えない。

● 本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがあります。データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。データを他のメディア等へセーブすることのできる製品では、大切なデータはこまめにセーブすることをお勧めします。

1. はじめに

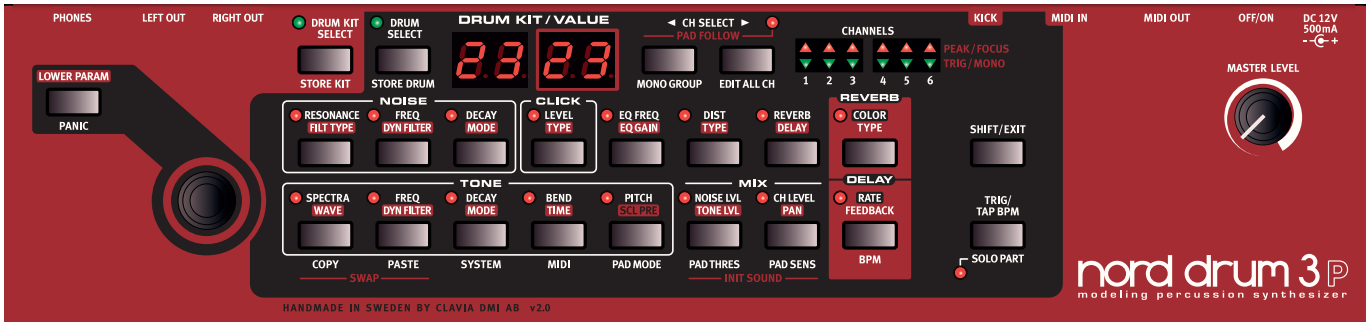
ありがとうございます!

Nord Drum 3Pをお買い上げいただきありがとうございます。Nord Drum 3Pは、ドラマー、パーカッショニスト、プロデューサーが探し求めてきた、ユニークでナチュラルなパーカッション・サウンドを作り出すよう設計されたオールインワン・ドラム・シンセサイザーです。さまざまな工夫を凝らすことで汎用性と応答性を最大限に高め、簡単に使用できる製品に仕上げました。Nord Drum 3Pが、お客様のインスピレーションを刺激し、音楽に新たな特色を加えるお役に立てば幸いです。

目次

1. はじめに.....	3	EQ FREQ.....	10
ありがとうございます!.....	3	EQ GAIN.....	10
2. 概要.....	4	DIST.....	10
パネル.....	4	TYPE.....	10
ダイヤル.....	4	REVERB.....	10
[CH SELECT] ボタン.....	4	DELAY.....	11
ピーク/フォーカス LED.....	4	ドラム・キットのパラメーター.....	11
トリガー/モノ LED.....	4	リバーブのパラメーター.....	11
パラメーター・ボタン.....	5	COLOR.....	11
[LOWER PARAM] ボタン.....	5	TYPE.....	11
[SHIFT/EXIT] ボタン.....	5	ディレイのパラメーター.....	11
[TRIG/TAP BPM] ボタン.....	5	RATE.....	11
[DRUM KIT SELECT] ボタン.....	5	FEEDBACK.....	11
[DRUM SELECT] ボタン.....	5	BPM.....	11
ドラム・キット/バリュー LED ディスプレイ.....	5	TAP BPM.....	11
マスター・レベル.....	5	グローバル設定.....	11
3. Nord Drum 3P を使用する.....	6	[COPY] ボタン.....	11
チャンネルと信号フロー.....	6	[PASTE] ボタン.....	11
基本操作.....	6	[SWAP] ボタン.....	11
[DRUM KIT SELECT] ボタン.....	6	SYSTEM.....	11
ドラムとドラム・キットについて.....	6	MIDI.....	12
[STORE KIT] ボタン.....	6	PAD MODE.....	12
メモリー・プロテクト.....	6	PAD THRES.....	12
[DRUM SELECT] ボタン.....	6	PAD SENS.....	13
[STORE DRUM] ボタン.....	6	[INIT SOUND] ボタン.....	13
パッド・フォロー.....	6	OS のアップデート.....	13
[MONO GROUP] ボタン.....	7	4. MIDI.....	14
[EDIT ALL CH] ボタン.....	7	MIDI の使い方.....	14
[SOLO PART] ボタン.....	7	グローバル MIDI と個別の MIDI.....	14
[LOWER PARAM] ボタン.....	7	グローバル MIDI チャンネル.....	14
[PANIC] ボタン.....	7	個別の MIDI チャンネル.....	14
チャンネルのパラメーター.....	7	記録：グローバル MIDI チャンネル.....	14
ノイズのパラメーター.....	7	パラメーターの変更を記録する.....	14
RESONANCE.....	7	記録：個別の MIDI チャンネル.....	14
FILT TYPE.....	7	個別の MIDI チャンネルでのピッチ・コントロール.....	14
FREQ.....	8	MIDI コントローラー.....	14
DYN FILTER.....	8	ドラム・キットのシステム・エクスルーシブ・ダンブを送信する.....	14
DECAY.....	8	ドラム・キットのシステム・エクスルーシブ・ダンブを受信する.....	15
MODE.....	8	Nord Beat 2 アプリ.....	15
トーンのパラメーター.....	8	MIDI CC リスト.....	15
SPECTRA.....	8	付録 I：接続 / 組み立て.....	16
WAVE.....	8	オーディオ接続.....	16
FREQ.....	9	ヘッドフォン.....	16
DYN FILTER.....	9	Left アウト / Right アウト.....	16
DECAY.....	9	キック接続.....	16
MODE.....	9	MIDI 接続.....	16
BEND.....	9	MIDI イン.....	16
TIME.....	9	MIDI アウト.....	16
PITCH.....	9	電源.....	16
SCL PRE.....	10	オン / オフ・スイッチ.....	16
クリックのパラメーター.....	10	スタンド・ホルダーを取り付ける.....	16
LEVEL.....	10	付録 II：Nord Drum 3 Manager.....	17
TYPE.....	10	ドラム・キット・バンクを取得する.....	17
ミックスのパラメーター.....	10	ドラム・キット・バンクを送信する.....	17
NOISE LVL.....	10	ドラム・バンクを取得する.....	17
TONE LVL.....	10	ドラム・バンクを送信する.....	17
CH LEVEL.....	10	付録 III：索引.....	18
PAN.....	10		
EQ とエフェクトのパラメーター.....	10		

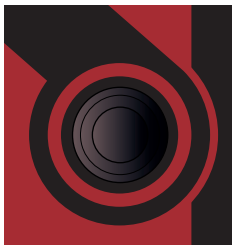
2. 概要



パネル

Nord Drum 3Pのユーザー・インターフェイスは、サウンドをすばやく調整したり、音作りをするための全てのパラメーターへ簡単にアクセスしたりできる設計となっています。ここでは、Nord Drum 3Pパネル上のコントロールについておおまかに説明します。すべての機能についての詳細は、後述します。

- ❶ Nord Drum 3Pの背面には、オーディオ、電源、MIDI、Nord Drum 3Pへのトリガー接続に必要なすべてのジャックが付いています。接続について不明な点がある場合は、16ページの付録を参照し、適切で安全に接続するための手順を確認してください。



ダイヤル

ダイヤルは、ドラム・キットやドラムを選択したり、サウンドをエディットするときに選択したパラメーターの設定を変更したりするのに使います。

ダイヤルの感度は回し方によって変化します。すばやく左右に回すと、そのパラメーターの最小値あるいは最大値にすばやく設定されます。

特定のパラメーターでは、最高値と最低値の間にデフォルト値が設定されています。たとえば、バンドは中央の状態が「0」ですが、ダイヤルを回すと、設定が一時的に中央値で停止します。

[CH SELECT] ボタン

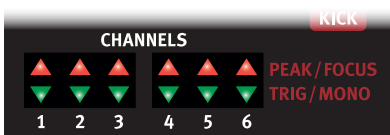
2つの [CH SELECT] ボタンは、エディットするチャンネルや、モノ・グループに追加するチャンネルを選択するときに使います。モノ・グループについては、7ページで詳しく説明します。



ピーク / フォーカス LED

赤のピーク / フォーカス LED は、パッド信号が最大ベロシティに近づくと点滅します。このLEDの光り方で Nord Drum 3P のダイナミックレンジを正確に確認することができます。ダイナミックレンジの調整方法とパッドの感度についての詳細は、13ページを参照してください。

また、ピーク / フォーカス LED で、エディットの対象となっているチャンネルを確認することもできます。エディット・オール・チャンネル・モード (7ページを参照) では、すべてのLEDが点灯します。



トリガー / モノ LED

緑のトリガー / モノ LED は、パッドが動作すると点灯し、チャンネルがパッドによってトリガーされると点滅します。チャンネルがモノ・グループの一部である場合、LEDが1つ点灯します。

パラメーター・ボタン

2列に並んだパラメーター・ボタンを使って、パラメーターにアクセスします。いずれかのボタンを押すと、関連するパラメーターにアクセスし、サウンドのエディットが開始されます。ダイヤルを回すと設定を変更できます。パラメーターの値は、ディスプレイに表示されます。

すべてのチャンネルのパラメーターについての詳細は、7ページ以降で詳しく説明します。

[LOWER PARAM] ボタン

[LOWER PARAM] ボタンとダイヤルを併用して、パラメーター・ボタンの2列目のパラメーターにアクセスします。

[SHIFT/EXIT] ボタン

一部のボタンには、2つの機能が割り当てられています。メインの機能はボタンの上に、2つ目の機能はボタンの下に表示されています。2つ目の機能にアクセスするには、[SHIFT] ボタンを押しながら、該当のボタンを押します。[SHIFT] ボタンは、設定メニューを終了（[EXIT]）したり、ドラム・キット・ストアやドラム・ストア操作を中断したりする場合にも使用できます。

[TRIG/TAP BPM] ボタン

[TRIG/TAP BPM] ボタンは、現在選択しているチャンネルのサウンドをトリガーするときに使用します。このボタンは、BPMモードでディレイ・エフェクトのテンポを入力するのにも使用できます（11ページを参照）。

[DRUM KIT SELECT] ボタン

[DRUM KIT SELECT] ボタンは、ダイヤルと併用して、ドラム・キットを選択するのに使用します。このボタンについての詳細は、6ページを参照してください。

[DRUM SELECT] ボタン

[DRUM SELECT] ボタンは、ダイヤルと併用して、個々のチャンネルに対するドラムのサウンドを選択するのに使用します。このボタンとファクトリー・ドラム・バンクについての詳細は、6ページを参照してください。

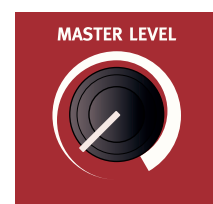
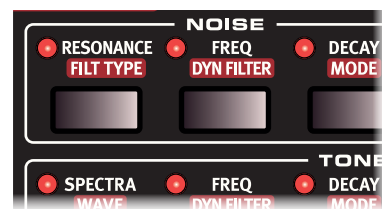
ドラム・キット / バリュー LED ディスプレイ

ドラム・キット・ディスプレイ・モードでは、左側のディスプレイにバンク、右側のディスプレイにキット番号が表示されます。

バリュー・ディスプレイ・モードは、Nord Drum 3Pのパラメーターをパラメーター・ボタンで選択するとすぐに有効になります。

マスター・レベル

マスター・レベル・ノブは、Nord Drum 3Pの全体的な出力レベルを設定します。マスター・レベル・ノブをプログラミングすることはできません。



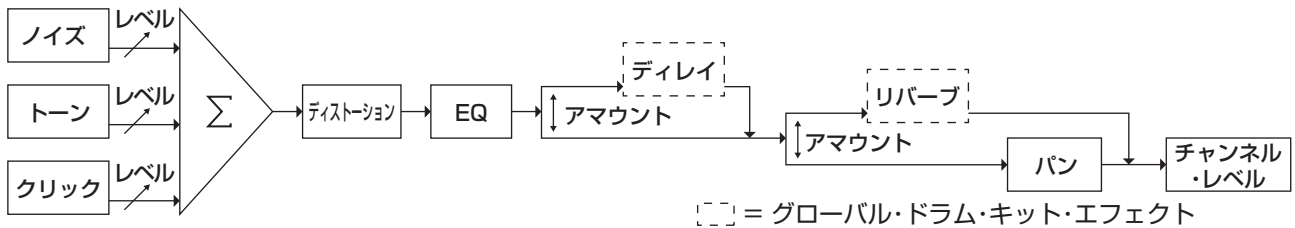
3.Nord Drum 3P を使用する

チャンネルと信号フロー

Nord Drum 3P は、6 チャンネル構成で、同時に 6 つの異なるサウンドを出力できます。各チャンネルは、同一のパラメーターのセットを備えています。Nord Drum 3P のドラム・サウンドは、**トーン**、**ノイズ**、**クリック**の 3 つのパートを組み合わせて作り出されます。各パートは、独自のパラメーターのセットを備えています。

トーンは、音の「本体」のようなものです。一方で、ノイズはピッチのない追加の音、または音の構成要素のことです。クリックは、スティックでドラムやその他のものを叩いた瞬間に発生する音のように、ごく短い時間の音のことです。これらのすべての音に対し、DIST、EQ、DELAY、REVERB などのエフェクトをかけることができます。

下の図は、Nord Drum 3P のチャンネルの信号の流れを表したものです。



基本操作

[DRUM KIT SELECT] ボタン



Nord Drum 3P の電源を入れると、ドラム・キット・セレクト・モードで起動します。このモードでは、ダイヤルを使用して、ドラム・キットを参照したり、選択したりすることができます。

[DRUM KIT SELECT] ボタンを押すと、ドラム・キット・セレクト・モードに入り、緑の LED が点灯します。ディスプレイにドラム・キットが表示されます。R-d の文字はバンクを表し、それに続いてドラム・キット番号 (1-50) が表示されます。

ドラムとドラム・キットについて

ドラム・キットとは、Nord Drum 3P のベースとなるプログラム形式を指し、6 つのドラム・サウンド (つまりチャンネル) の集合のことです。ドラム・サウンドには、6 つのパッドからアクセスできます。ドラムという名前ではありませんが、必ずしもドラムのようなサウンドとは限りません。Nord Drum 3P チャンネルで生成できる、あらゆるタイプのサウンドを出力できます。

[STORE KIT] ボタン

ドラム・キットに加えた変更を Nord Drum 3P のメモリに保存するには、ストア・キットを使用します。[STORE KIT] ボタンを押すと、ディスプレイが点滅し、ダイヤルでドラム・キットを保存する場所を選択できます。

メモリー・プロテクト

Nord Drum 3P では、誤ってドラム・キットが上書きされることを避けるため、工場出荷時の状態ではメモリー・プロテクトがオンになっています。システム設定で、メモリー・プロテクトをオフ (Pr.0F) にすると、Nord Drum 3P にドラム・キットを保存できます。

[DRUM SELECT] ボタン

Nord Drum 3P には、10 のカテゴリーに分類されたドラム・バンクがあり、それぞれのカテゴリーから読み取り専用のファクトリー・サウンドを選択できます。さらに、カテゴリーに分類されていない 8 つのバンクがあり、最大 400 のユーザー・ドラム・サウンドを追加保存できます。

[DRUM SELECT] ボタンを押して、ドラム・バンクにアクセスし、ダイヤルを使ってすべてのドラム・バンクを参照できます。選択したサウンドが、現在アクティブなチャンネルのコンテンツと置き換わります。

値	説明
bd	バス・ドラム
Sn	スネア・ドラム
to	タム
HH	ハイハット
CY	シンバル
Pc	パーカッション
bE	ベル
tU	ピッチ付きパーカッション
EF	エフェクト
U1 ~ 8, 1 ~ 50	ユーザー・バンク

[STORE DRUM] ボタン

[STORE DRUM] ボタンを押すと、現在アクティブなチャンネルのコンテンツをユーザー・ドラム・サウンドとして保存できます。ダイヤルを使って保存先を選択します。保存先には、あらかじめ定義されたカテゴリー内でユーザーが任意の場所を指定したり、専用のユーザー・バンク内の場所を指定したりできます。

※ [SHIFT] ボタンを押しながらダイヤルを回すと、ドラムのカテゴリーとユーザー・バンクをすばやく切り替えることができます。

パッド・フォロー



2 つの [CH SELECT] ボタンを同時に押すと、パッド・フォロー・モードに入り、パッド・フォロー LED が点灯します。パッド・フォローがアクティブの状態では、高ベロシティで任意のパッドを叩くと、そのチャンネルが自動的にエディットの対象となり、対応するピーク/フォーカス LED がその状態を示します。

[MONO GROUP] ボタン

モノ・グループ機能は、モノ・グループ内のあるチャンネルを演奏し、チャンネルのグループを1つのモノラル・インストゥルメントとして動作させることで、別のチャンネルの出力をミュートする機能です。この機能により、モノ・グループ内に存在するあるチャンネルのクローズド・ハイハットを鳴らすことで、別のチャンネルのオープン・ハイハットが鳴らないようにできます。

[MONO GROUP] ボタンを押すと、現在選択されているチャンネルがモノ・グループに追加されます。[CH SELECT] ボタンを使って別のチャンネルを選択し、再度 [MONO GROUP] ボタンを押すと、このチャンネルがモノ・グループに追加されます。

チャンネルがモノ・グループに追加されると、そのチャンネルの緑のLEDが常時点灯します。モノ・グループの設定は、ドラム・キットに保存されます。

☞ [SHIFT] と [MONO GROUP] ボタンを1秒間押すと、モノ・グループが選択されている場合は、そのモノ・グループ全体がクリアされます。モノ・グループが1つも選択されていない場合は、すべてのチャンネルがグループに追加されます。

[EDIT ALL CH] ボタン

エディット・オール・チャンネル機能は、6つのチャンネルで同時にパラメーターをエディットする機能です。すべてのチャンネルに対して同じパラメーターを設定する必要がある場合に便利で、REVERB、DELAYなどのさまざまなエフェクトをドラム・キット全体にすばやく適用できます。この機能がアクティブになると、すべてのピーク/フォーカスLEDが点灯します。

トーンのスケール・プリセット・パラメーターをエディットするときは、操作している間ずっと、エディット・オール・チャンネルは自動的にアクティブになります。詳細は、10ページを参照してください。

- ① ドラム・キットを保存するとき、エディット・オール・チャンネルの状態は保存されません。

[SOLO PART] ボタン



ソロ・パートをアクティブにすると、現在エディット中のパート（ノイズ、トーン、クリック）のみを聴くことができます。また、入力されたMIDIノートに対して、フォーカスされたチャンネルがソロになります。

[LOWER PARAM] ボタン



パラメーター・ボタンの2列目に記載され、赤のラベルで表示されているローワー・パラメーターをエディットするには、[LOWER PARAM] ボタンを押しながらダイヤルを操作します。ローワー・パラメーターには、関連するボタンを押しながらダイヤルを回してアクセスすることもできます。

[PANIC] ボタン

[PANIC] ボタンを押すと、直ちにすべてのチャンネルのサウンドを終了できます。この機能は、外部MIDI入力によりノートがハングした場合や、ライブ・パフォーマンス中に、急遽、現在演奏中のすべてのサウンドを停止したい場合に使用できます。

チャンネルのパラメーター

ノイズのパラメーター



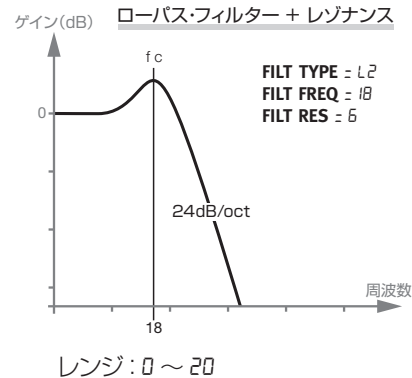
ノイズ・パートは、ホワイトノイズ・ジェネレーターとそれに続くノイズ・スペクトルを形成するダイナミック・マルチモード・フィルターで構成されています。

フィルター・カットオフ・フリクエンシーは、ペロシティによって変調される

ダイナミック・フィルター・エンベロープによってコントロールされます。

RESONANCE

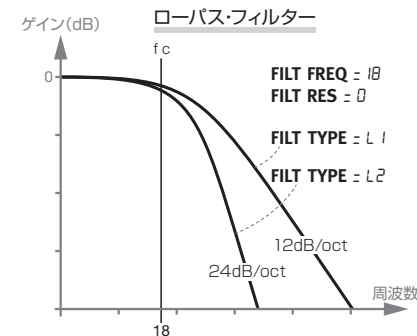
レゾナンスは、フィルター・カットオフ・フリクエンシー周辺の周波数を強調するために使われます。これにより、サウンドが薄くなったり、若干「鼻にかかったようなサウンド」になったりします。



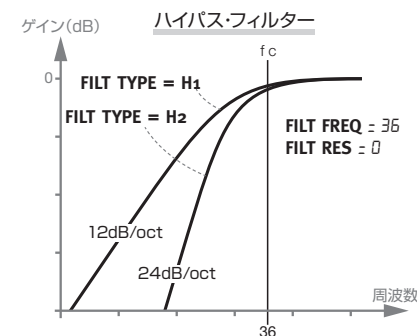
FILT TYPE

フィルターのタイプは、異なるスロープを持つローパス、ハイパス、バンドパスなど、7つのフィルター・タイプ (FILT TYPE) の中から選択できます。ローパス・フィルターとハイパス・フィルターには、12または24dB/オクターブのスロープがあります。ハイカットされた24dB/オクターブのハイパス・フィルターはハイパスでありながら高域を若干弱める効果を持っています。バンドパス・フィルターは、6または12dB/オクターブに設定することができます。

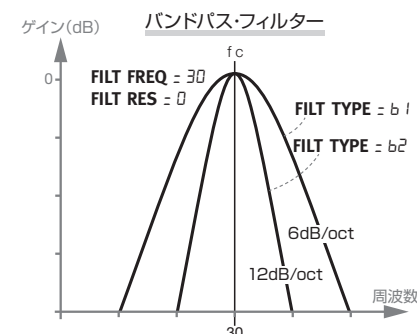
ローパス・フィルターは高域を減衰させ、温かみのあるサウンドにします。



ハイパス・フィルターは、低域を減衰させ、明るいサウンドにします。



バンドパス・フィルターは、高域と低域の両方の周波数を減衰させます。



スロープは、カットオフ・フリクエンシーでフィルターがどの程度急に減衰するかを表します。

レンジ: $L1$ (ローパス 12dB)、 $L2$ (ローパス 24dB)、 $b1$ (バンドパス 6dB)、 $b2$ (バンドパス 12dB)、 $H1$ (ハイパス 12dB)、 $H2$ (ハイパス 24dB)、 $H3$ (ハイパス・ハイカット)

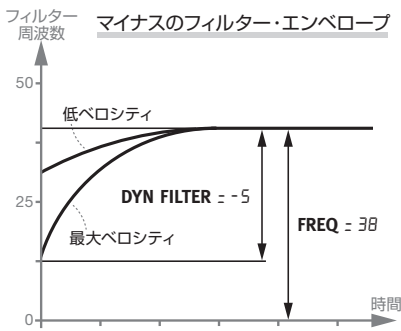
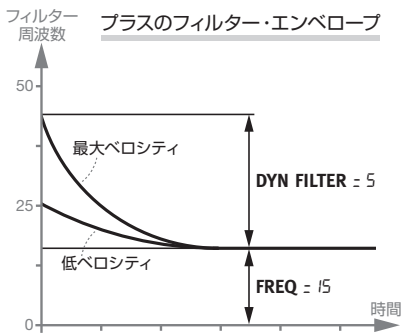
FREQ

フィルター・フリクエンシー (FREQ) とは、選択されたフィルターがノイズに影響を与えるカットオフ・フリクエンシーのことです。生成される実際のサウンドは、フィルター・タイプによって異なります。

レンジ: $0 \sim 50$

DYN FILTER

DYN FILTER では、ノイズ・フィルター・エンベロープのダイナミック・ペロシティー・モジュレーションの量を設定します。このパラメーターには2つの極性があり、プラスに設定するとフィルターが開き、マイナスに設定するとフィルターが閉じます。



レンジ: $r9 \sim \text{L}9$

DECAY

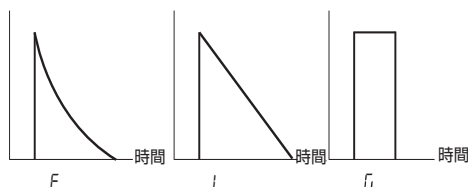
DECAY パラメーターは、トリガー後、ノイズ・レベルがゼロに下がるまでの時間を定義します。値が大きいほどノイズが長くなります。

レンジ: $0 \sim 50$

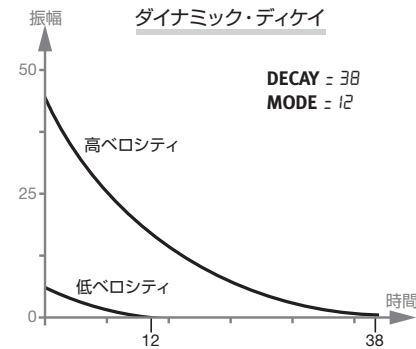
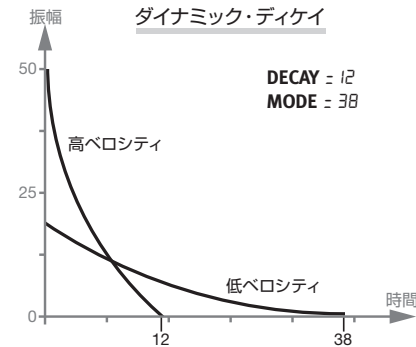
MODE

DECAY MODE は、ディケイ・エンベロープのディケイ・プロファイルを定義します。エクスポネンシャル (E1 ~ E3)・モードでは、ノイズは最初急速に減衰し、時間が経過するにつれ、徐々に緩やかに減衰していきます。リニア・モードでは、ディケイ・エンベロープが全体的に直線になります。ゲート・モードでは、ディケイ時間に達するまで、最大のノイズ・レベルが維持されます。

ダイナミック・ディケイ・モード:



E、L、Gモードを過ぎると、番号がディスプレイに表示されます。この数字は、ゼロ・ペロシティーでのディケイの値を示すもので、パッドがトリガーされるかにディケイの長さを動的に対応させることができます。下の図は、ディケイとダイナミック・ディケイ・モードのパラメーターが、異なる設定でどのように作用するかを示したものです。



レンジ: E、E2、E3 (エクスポネンシャル)、L (リニア)、G (ゲート)、 $0 \sim 50$

トーンのパラメーター

トーン・パートは、サウンドの「本体」と考えることができます。その関連するパラメーターにより、多様なサウンドを作り出すことができます。

WAVE パラメーターでは、幅広いドラム・サウンドを作り出すよう特別に設計されたシンセシス・モデルを選択できます。SPECTRA と FREQ パラメーターは、波形の高調波成分を変更します。加えて、FREQ は、DYN FILTER パラメーターを使用して、ペロシティーで変調をかけたディケイ・エンベロープによって動的にコントロールできます。

SPECTRA

SPECTRA パラメーターでは、スペクトル成分を拡大したり調整したりできます。たとえば、ドラムヘッド・モデル (d1 ~ d9 の波形) は、PITCH パラメーターによって決定されるレゾナンスとは個別に、ヘッドのスペクトルを調整することができます。FM を使用している場合、SPECTRA パラメーターは、モジュレーター・フリクエンシーを設定します。

レンジ: $0 \sim 99$

WAVE

Nord Drum 3P は、さまざまなキャラクターや適用の範囲を表す、WAVE と呼ばれるさまざまなシンセシス・モデルを備えています。トーン・パートに独特のピッチをもたらす波形や、よりピッチ感の薄いキャラクターを与える波形があります。

WAVE	説明	Spectra
A1	アナログ・スタイルサイン波	-
A2	アナログ・スタイル三角波	2つ目の三角波をデチューン
A3	アナログ・スタイルノコギリ波	2つ目のノコギリ波をデチューン
A4	アナログ・スタイル矩形波	2つ目の矩形波をデチューン
A5	ハイパス・フィルターをかけた矩形波	2つ目の矩形波をデチューン
A6	アナログ・スタイルパルス波	初期パルス幅
E1	Tブリッジ・オシレーター	-
E2	Tブリッジ・オシレーター	2つ目の発振回路をデチューン
F1 ~ F4	FMアルゴリズム	オペレーターをデチューン
H1 ~ H6	ハーモニック・レゾナンスのモデリング	レゾナンス・センター
d1 ~ d7	ドラムヘッドのレゾナンスのモデリング	レゾナンス・センター
P1 ~ P4	マリンバやピブラフォンなどのチューンド・パーカッションのレゾナンスのモデリング	レゾナンス・センター
[1 ~ [3	シンバル	シンバルのチューン & フィルター
r1 ~ r2	リング・モジュレーション・オシレーター	リング・モジュレーターをデチューン

FREQ

基本となる音色を定義する初期周波数は、FREQパラメーターで設定します。値が0の場合、高調波は少なく、DYN FILTERの量を決定し、叩く力が波形に与える影響が大きくなります。値が50の場合、高調波成分は最大になり、DYN FILTERパラメーターの影響をほとんど受けません。

アナログ・スタイルの波形には、ローパス・フィルターがかけられ、その他の波形の高調波成分が変更されます。

FMアルゴリズムが選択されている場合、FREQはFMの量をコントロールします。

- Tブリッジ・オシレーターモードでは、FREQは2つのオシレーターのミックスを設定します。

- A1 (サイン波) が選択されている場合、FREQは使用できません。

レンジ: 0 ~ 50

DYN FILTER

FREQをベロシティと合わせて変更するエンベロープの量を設定します。

- A1 (サイン波) が選択されている場合、DYN FILTERは利用できません。

レンジ: 0 ~ 9

DECAY

DECAYパラメーターは、トーンの長さを定義します。値が大きいほど、サウンドが長くなります。

レンジ: 0 ~ 50

MODE

DECAY MODEは、DECAYパラメーターの動作を決定し、トーン・サウンドをエクスポネンシャルとリニアのどちらで減衰させるかコントロールします。エクスポネンシャル・ディケイ・モードを使用するだけでなく、短いベロシティ・コントロールド・アタック・ポーションを波形に追加する「パンチ」設定もあります。

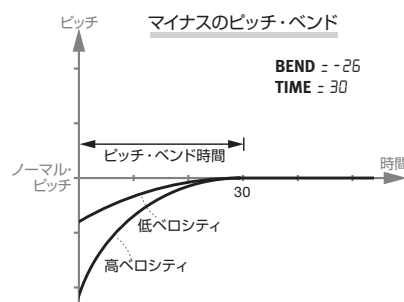
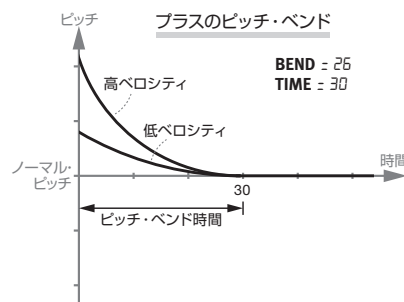
ダイナミック・ディケイ・モード:

E、L、Pモードを切り替えると、番号がディスプレイに表示されます。この数字は、ゼロ・ベロシティでのディケイの値を示すもので、パッドがトリガーされる力にディケイの長さをも動的に対応させることができます。ディケイやダイナミック・ディケイ・モードのパラメーターが、さまざまな設定でどのように作用するかについては、ノイズのディケイ・モードのセクション (8 ページ) を参照してください。

レンジ: E1 ~ E3 (エクスポネンシャル)、L (リニア)、P (パンチ)、0 ~ 50

BEND

ベロシティの影響を受けやすいBENDパラメーターでは、トーンのピッチ・バンドを定義します。BENDには、トーン・ピッチを下げるプラス値と、トーン・ピッチを上げるマイナス値の2つの方向があります。



レンジ: r9 ~ 50

TIME

BEND TIMEパラメーターは、トーン・ピッチに達するまでの時間を定義します。

レンジ: 0 ~ 50

PITCH

PITCHは、トーンの基本的なピッチを半音単位で設定します。ピッチは、MIDIノート・ナンバーで表示されます。A=440Hzのとき、Aのノート・ナンバーは69です。

レンジ: 0.0 ~ 127.5

SCL PRE

スケール・プリセット (SCL PRE) をエディット・オール・モードで使用すると、特定のピッチの関係をすばやく設定できます。
エディット・オール・モードに入り、[SCL PRE] ボタンを押しながらダイヤルを回して、スケールを選択します。
 ピッチは、低い番号のチャンネルから設定され、選択したスケールの係数ずつ増加します。

スケールを使用してピッチの関係を設定している場合、ピッチの関係を保ったまま、1つのチャンネルのピッチを変更できます。これにより、ピッチが最小 (0) から最大 (127.5) に達するまで、その他のすべてのピッチが移動します。

SCL 値	説明
h1 ~ 7	ハーモニー / コードのスケール
P1 ~ 2	ペンタトニック・スケール
H1 ~ 5	ハング・チューニング
Au	ヘキサトニック、オーギュメント
bL	ヘキサトニック、ブルース

☞ SCL Pre はパラメーターではないため、パラメーターの1つとして保存されません。選択したチャンネルのピッチ設定のマクロとして機能します。

クリックのパラメーター



クリック・パートでは、音が出る瞬間にごく短い音を追加できます。ドラムの叩き始めにスティックのアタック音や音のエネルギー感を加えるのに役立ちます。

LEVEL

LEVEL パラメーターで、クリックの増幅を定義できます。

レンジ: 0 ~ 50

TYPE

TYPE では、さまざまなキャラクターを持つクリック・タイプを選択できます。

クリック	説明
n1 ~ 3	特徴の異なる様々なノイズ波形。
P1 ~ 3	ショート・パルス
H1 ~ 3	ハイパス・フィルターのかけたショート・パルス。
L1 ~ 3	ピッチ付きや、さえずりのようなキャラクターのクリック

レンジ: n1 ~ 3, P1 ~ 3, H1 ~ 3, L1 ~ 3

ミックスのパラメーター

NOISE LVL

NOISE LVL は、ノイズ・パートのボリュームを設定します。

レンジ: 0 ~ 50



TONE LVL

TONE LVL は、トーン・パートのボリュームを設定します。

レンジ: 0 ~ 50

CH LEVEL

CH LEVEL は、エディットしているチャンネルのボリュームを設定します。

レンジ: 0 ~ 50

PAN

PAN パラメーターは、チャンネルのステレオ空間内の左右の位置を定義します。L が設定されている場合、チャンネルの定位がセンターにあることを示します。

レンジ: L9 ~ C ~ r9

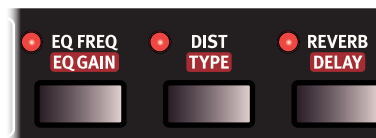
EQ とエフェクトのパラメーター

EQ FREQ

各チャンネルには、あるフリクエンシーバンドでブースト / カットを行うパラメトリック・イコライザーが装備されています。フリクエンシーバンドは、EQ FREQ パラメーターで定義します。イコライザーのバンド幅 (Q 値) は固定されています。

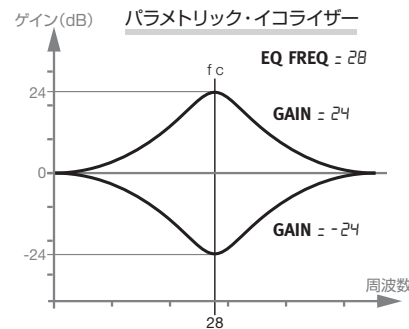
① EQ GAIN パラメーターを 0 に設定すると、このパラメーターは無効になります。

レンジ: 0 ~ 50



EQ GAIN

EQ GAIN を使用して、選択された EQ フリクエンシーに対して、最大 +/-24dB の範囲でブースト / カットをコントロールできます。



レンジ: -9 ~ 9

DIST

DIST パラメーターは、選択されているチャンネルのサウンドにディストーションを追加します。

レンジ: 0 ~ 50

TYPE

3種類のディストーション・タイプが選択可能です。チューブ・アンプ・スタイルのオーバードライブ (dr) は、クラシックなディストーション・エフェクトを適用します。サンプル・レート・リダクション (SR) は、レトロなローファイ・エフェクトをもたらします。リング・モジュレーション (rn) は、さまざまな周波数に設定できるサイン波で出力を変調し、微妙なビブラートから豊かなベルトーンに至るさまざまなサウンドを作ります。

レンジ: dr, SR, rn

REVERB

リバーブ・アマウント・パラメーターは、ドライ信号 (エフェクトなし) とウェット信号 (リバーブ) のレベルを定義します。25 で、ドライ信号とウェット

ト信号のバランスが均等になります。50 では、ウェット信号のみが聞こえます。

※ **エディット・オール・モード**では、ドラム・キット全体にリバーブをすばやく適用することができます。

レンジ: 0 ~ 50

DELAY

ディレイ・アマウントパラメーターは、ドライ信号 (エフェクトなし) とウェット信号 (ディレイ) のレベルを定義します。

レンジ: 0 ~ 50

ドラム・キットのパラメーター

リバーブのパラメーター

COLOR

COLOR パラメーターは、リバーブの低域と高域のバランスをコントロールします。COLOR パラメーターを下げると (最低 -9)、入力信号から高域が、COLOR パラメーターを上げると (最高 9)、低域がカットされます。0 の場合、入力信号はフィルタリングされません。

レンジ: -9 ~ 9

TYPE

リバーブの **TYPE** では、リバーブ・エフェクトのキャラクターとサイズを定義します。サイズは小さいものから非常に大きいものまで、さまざまなタイプから選択できます。

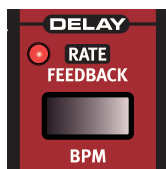
レンジ: t_1 (タイトル・ルーム)、 $r_1 \sim r_2$ 、(ルーム 1 ~ 2)、 $P_1 \sim P_4$ 、(プレート 1 ~ 4)、 $5t$ (ステージ)、 hR (ホール)

ディレイのパラメーター

RATE

ディレイの **RATE** は、ディレイ・エフェクトによって生成されるディレイ音とディレイ音の間の時間をコントロールします。

レンジ: 0 ~ 99 (1.15 秒 ~ 0.01 秒)



FEEDBACK

FEEDBACK パラメーターでは、ディレイ信号に存在するタップの数を定義します。最小値に設定すると、聴こえるタップは 1 回のみです。最大値に設定すると、タップの回数はほとんど無限に近くなります。

レンジ: 0 ~ 20

BPM

ディレイ・レイトは、**BPM** (Beats Per Minute) パラメーターを使って設定することもできます。BPM モードでは、両方のディスプレイを使用してテンポを示します。ディレイの **FEEDBACK** パラメーターには、引き続きローワー・パラメーター・ボタンを使ってアクセスすることができます。

1 分あたりの 4 分音符の数が BPM179 を超える値の場合、ディレイは 8 分音符または 16 分音符に設定され、それぞれ 8 分音符 (水平バー 1 本、-) または 16 分音符 (水平バー 2 本、=) のシンボルが表示されます。300BPM の 16 分音符を超える値の場合、レイトの表示は時間の値に戻ります。

レンジ: 60 ~ 179、-90 ~ -179、=90 ~ =300、0.050 ~ 0.001 (秒)

TAP BPM

BPM モードの状態では **[TRIG/TAP BPM]** ボタンをタップすると、テンポを入力できます。テンポを定義するには、下に示すように、4 回以上タップする必要があります。(この例では 120BPM をタップ)。

タップ 1: _ooo、タップ 2: _oo、タップ 3: _o、タップ 4: 120

グローバル設定

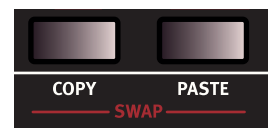
[SHIFT] ボタンを押しながら対応するボタンを押すと、2 列目にある追加機能にアクセスできます。一部の機能 (**[COPY]** ボタン、**[PASTE]** ボタン、**[SWAP]** ボタン、**[INIT SOUND]** ボタン) は、すぐに実行できます。その他は、グローバル設定または機能です。

特定の設定は、複数の機能やパラメーターを共有しており、ボタンを繰り返し押すことによって目的の機能にアクセスできます。**[EXIT]** ボタンを押すと、すべての設定メニューを終了できます。

※ MIDI ローカル以外の設定は、電源を切ってもそのまま保持されます。MIDI ローカルの設定は、電源を入れるとオンに戻ります。

[COPY] ボタン

この機能を使用すると、選択されているチャンネルのすべての設定をコピーできます。コピーした設定は、**[PASTE]** ボタンを使って、同じドラム・キット内の別のチャンネルまたは別のドラム・キットのチャンネルにペーストできます。コピーした内容は、別のコピー操作を実行するか、またはユニットの電源をオフにするまで、「クリップボード」に保存されます。



[PASTE] ボタン

チャンネル設定をコピーし、別のドラム・キットやチャンネルに設定を貼り付けるときに使用します。コピーした設定は、ペーストのコマンドを繰り返すことで、複数のコピー先に貼り付けることができます。

❶ エディット・オール・チャンネル・モードになっている場合、コピーした設定は 6 つのチャンネルすべてに貼り付けられます。

[SWAP] ボタン

[SWAP] ボタンを使用して、2 つのチャンネルのサウンドを互いに切り替えることができます。

① **[CH SELECT]** ボタンを使用して、スワップする 2 つのチャンネルのうち 1 つを選択します。

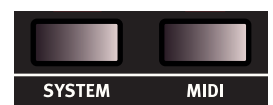
② **[COPY]** ボタンを押します。

③ もう一方のチャンネルを選択します。

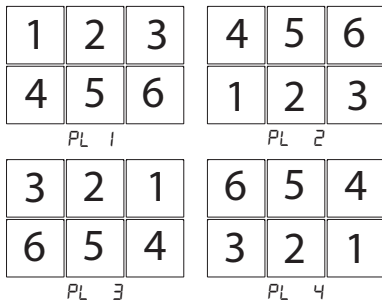
④ **[SHIFT]** ボタンを押しながら、2 つの **[SWAP]** ボタンを押します。ディスプレイに、2 つのサウンドがスワップされたことを示す「SWAP」が表示されます。

SYSTEM

Pr - メモリー・プロテクト: Nord Drum 3P では、誤ってドラム・キットが上書きされることを避けるため、工場出荷時の状態でメモリー・プロテクトが ON (オン) になっています。メモリー・プロテクトを OFF (オフ) に設定すると、Nord Drum 3P でドラム・キットを保存できるようになります。



PL - パッド・レイアウト：PL 1～4は、Nord Drum 3Pの1から6のチャンネルをどのように6つのパッドに割り当てるかを表す4種類のレイアウト情報を保持します。



MIDI

Nord Drum 3Pは、複数のMIDIに関連する設定を備えています。Nord Drum 3PでのMIDIの使い方については、14ページ以降のMIDIに関するページを参照してください。

Lo - ローカル・コントロール・オン / オフは、ディスプレイで「Lo.On」/「Lo.Off」と表示されます。ローカル・コントロールをオフにすると、音源部はパッドとパネルから切り離されます。シーケンサーとNord Drum 3Pを接続して使用している場合に、Nord Drum 3Pの音にエコーがかかったようになりたり二重に聞こえたりするときは、設定をオフにします。

▲ ローカルがオフになっており、MIDIがNord Drum 3Pにルーティングされていない場合、パネル上のコントロールは操作できません。

レンジ：Lo.On, Lo.Off

GL - MIDIチャンネル：グローバルMIDIチャンネルは、MIDIチャンネル上でノートやパラメーターの変更を送受信するときに使用します。

レンジ：GL.1 - GL.16, GL.Off

Ch - MIDIチャンネル：各MIDIチャンネルは、Nord Drum 3Pチャンネルに個別に対応するために使用します。

レンジ：Ch.1 - Ch.16, Ch.Off

nt - MIDIノート：入力されたMIDIノートに対して、Nord Drum 3Pのチャンネルをどのように割り当てるかを設定します。工場出荷時には、チャンネル1～6は、MIDIノート・ナンバーの60、62、64、65、67、69に割り当てられています。

レンジ：n.0 ~ 127

PC - プログラム・チェンジは、オフ (Off)、送信のみ (S)、受信のみ (R)、送受信 (SR) に設定できます。MIDIコントローラーやシーケンサーからNord Drum 3Pのプログラムの変更を受信したい場合には、受信に設定します。

レンジ：PC.Off, PC.S, PC.R, PC.SR

CC - コントロール・チェンジは、オフ (Off)、送信のみ (S)、受信のみ (R)、送受信 (SR) に設定できます。MIDIコントローラーやシーケンサーからNord Drum 3Pのパラメーターの変更を受信したい場合は、受信に設定します。

レンジ：CC.Off, CC.S, CC.R, CC.SR

センド・ダンブ - 「Send」で、Nord Drum 3Pから、現在のドラム・キットのダンブをMIDI Sys Exデータとして送信できます。この機能は、個々のドラム・キットのバックアップの作成や、他のNord Drum 3Pユーザーとの共有に使用できます。[DRUM KIT SELECT] ボタンを押すと、送信が開始されます。

● 現在選択されているドラム・キットに対するすべてのエディットが、送信データに含まれます。

PAD MODE

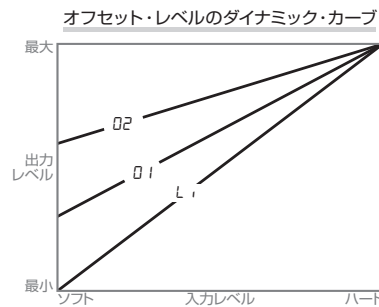
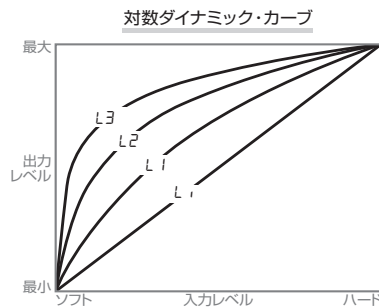


Ty - パッド・モード・タイプ：パッド・モード・タイプ・パラメーターは、スティックで叩いて演奏する場合は、「Ty.St」に設定します。また、手で叩いて演奏する場合は、「Ty.HR」に設定します。トリガーがキック入力に接続されているときは、さまざまなトリガー・タイプに対応するパラメーターを使用できます。

レンジ、パッド：Ty.St ~ Ty.HR、キック：Ty.F0 ~ Ty.YR

Dy - ダイナミクス：6つの異なるダイナミクス・レスポンスの設定が用意されており、チャンネルごとに独立した設定ができます。

ダイナミクス	説明
Dy.L1	このカーブは、ベロシティと出力レベルが直線で等分になっています。
Dy.L1-3	この対数曲線は、圧縮されたダイナミック・レスポンスを構成します。
Dy.O1-2	ダイナミック・レスポンスが少ないオフセット・レベルのカーブです。均等な音量になります。



PAD MODE (キック・ペダル取り付け時)

キック入力に対応したPAD MODEの設定は、キック・ペダルかトリガーを取り付けた場合にのみ、設定と変更ができます。左側の [CH SELECT] ボタンを押すと、キック特有の設定ができます。この状態では、チャンネル1のLEDのみが点灯します。

パッド用のPAD MODEオプションに戻るには、右側の [CH SELECT] ボタンを押します。この操作で6つすべてのチャンネルLEDが点灯します。キック・ペダルの接続を外しても、マシンの電源をオフにしても、値はNord Drum 3Pに保存されます。

PAD THRES

PAD THRESを使用すると、パッドが誤って他のチャンネルをトリガーしないようにできます。パッドを叩いたときにパッドと関連付けられたチャンネルの音と異なる音が鳴った場合、スレッシュホールド値を上げます。一方、パッドを叩いても音がまったく鳴らない場合は、スレッシュホールド値を下げます。

PAD THRES (キック・ペダル取り付け時)

キック・ペダル、またはトリガーがキック入力と接続されている場合、Nord Drum 3Pの6つのパッドと、接続されているトリガーに対して、PAD THRES値を別々に設定します。接続されているトリガーに対して

PAD THRES を設定するには、左側の [CH SELECT] ボタンを押します。この状態では、チャンネル 1 の LED のみが点灯します。

再びパッドに対して PAD THRES を調整するには、右側の [CH SELECT] ボタンを押します。この操作で 6 つすべてのチャンネル LED が点灯します。キック・ペダルの接続を外しても、マシンの電源をオフにしても、個々の値は Nord Drum 3P に保存されます。

レンジ: 1 ~ 20

PAD SENS

PAD SENS では、生成されるサウンドが、パッドを演奏する際のペロシティを適切に表現できるよう、Nord Drum 3P のダイナミック・レスポンスを調整します。

インプット・トリガーとピーク LED は、パッドによって生成される信号の情報を表します。LED が緑のとき、トリガー信号を受信したことを示します。トリガー信号が最大値より 3dB 低いとき、LED が赤くすばやく点滅します。トリガー信号が最大レベルになったとき、LED は赤く長めに点灯します。

パッドをもっとも強く叩いたときにのみ、インプット・トリガー・レベル LED で赤の LED が長めに点灯するよう、PAD SENS パラメーターを調整します。

▲ Nord Drum 3P のオーディオ信号経路内でオーバーロードやディストーションが発生している場合、赤の LED は点灯しません。

PAD SENS (キック・ペダル取り付け時)

キック・ペダル、またはトリガーがキック入力と接続されている場合、Nord Drum 3P の 6 つのパッドと、接続されているトリガーに対して、PAD SENS 値を別々に設定します。接続されているトリガーに対して PAD SENS を設定するには、左側の [CH SELECT] ボタンを押します。この状態では、チャンネル 1 の LED のみが点灯します。パッドに対して PAD SENS を調整するには、右側の [CH SELECT] ボタンを押します。この操作で 6 つすべてのチャンネル LED が点灯します。キック・ペダルの接続を外しても、マシンの電源をオフにしても、個々の値は Nord Drum 3P に保存されます。

レンジ: 1 ~ 20

[INIT SOUND] ボタン

2 つの [INIT SOUND] ボタンを押しながら、[SHIFT] ボタンを押すと、チャンネルをデフォルト値にリセットできます。0 から音を作る場合に使用します。

OS のアップデート

Nord Drum 3P の電源を入れると、インストールされているオペレーティング・システム (OS) のバージョンがディスプレイに表示されます。

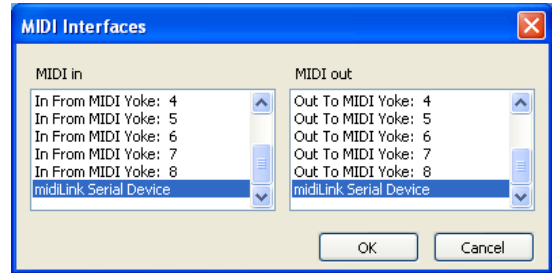
アップデートは、MIDI インターフェイスに接続されている Windows または Mac コンピュータから実行します。アップデート・ユーティリティ・アプリケーションは、www.nordkeyboards.com からダウンロードできます。

アップデート・ユーティリティには、Windows 用と Mac OSX 用があります。お使いのコンピュータに対応したものをダウンロードしてください。

Nord Drum 3P をアップデートするには、MIDI インターフェイスをコンピュータに接続する必要があります。

- ① Nord Drum 3P の MIDI 端子を MIDI インターフェイスの MIDI 端子に接続します。
- ② アップデート・ユーティリティ・アイコンをダブルクリックすると、アップデート・アプリケーションが実行されます。Windows 版ユーティリティは、ダウンロード時、ZIP 形式で圧縮されています。ユーティリティを実行する前に、WinRAR などのアプリケーションを使用して、圧縮ファイルを解凍する必要があります。

- ③ 操作に使用する MIDI インターフェイスとポートを選択し、[OK] を押します。



現在インストールされている OS バージョンが表示されます。



- ④ [UPDATE] ボタンをクリックして、新しい OS をユニットに転送します。
- ⑤ オペレーティング・システムの転送が終わるまで、しばらく時間がかかります。転送中は、MIDI ケーブルを取り外したり、Nord Drum 3P の電源をオフにしたりしないでください。機器のアップデートが正常に完了すると、アップデート・ユーティリティにメッセージが表示されます。

[SHIFT] ボタンと [DRUM KIT SELECT] ボタンを押しながら、ユニットの電源を入れると、現在インストールされているオペレーティング・システムからではなく、Nord Drum 3P はアップデート・レディ・モードで起動します。

定期的にウェブサイト (www.nordkeyboards.com) にアクセスして、OS アップデート、アーティスト・ドラム・キット・バンク、その他の Nord Drum 3P 関連のニュースをご確認ください。

4.MIDI

MIDI の使い方

グローバル MIDI と個別の MIDI

MIDI セットアップで Nord Drum 3P を使用する場合、グローバルチャンネルを使用する方法と、個別の MIDI チャンネルを使用する方法があります。この 2 つの方法は、柔軟性と目的が異なります。

いずれの方法でも、MIDI ノートやパラメーターの変更を記録したり再生したりできます。Nord Drum 3P パネルで演奏やエディットが行われると、パッドで MIDI ノートが生成され、MIDI コントロール・チェンジ・メッセージとして送信されます。

グローバル MIDI チャンネル

グローバル MIDI チャンネルを使用すると、単一の MIDI チャンネルで、すべての MIDI ノートとコントロール・チェンジ・メッセージを送受信できます。

個別の MIDI チャンネル

個別の MIDI チャンネルを使用すると、全 Nord Drum 3P チャンネルのすべての Nord Drum 3P パラメーターをコントロールできます。

記録：グローバル MIDI チャンネル

- ① Nord Drum 3P MIDI IN 端子 / OUT 端子と、コンピュータ / MIDI インターフェイス / シーケンサーを接続します。
- ② シーケンサーのトラックを、すべてのチャンネル、または MIDI チャンネル 10 (デフォルトの Nord Drum 3P 用グローバル MIDI チャンネル) に設定します。
- ③ Nord Drum 3P を演奏し、パフォーマンスを記録します。Nord Drum 3P チャンネルの個別の MIDI ノートは、グローバルチャンネル上のシーケンサーに送信されます。
- ④ シーケンサーの設定が入力された MIDI データをエコーバックするようになっている場合、ノートが二重にトリガーされたり、フラムのようなサウンドになったりすることがあります。このような場合には、Nord Drum 3P でエコーをオフにするか、MIDI ローカルをオフに設定します。

パラメーターの変更を記録する

Nord Drum 3P チャンネルには、使用できる MIDI コントロール・チェンジ・ナンバーよりも多くのパラメーターが存在します。パネル上のチャンネル・セレクト・ボタンは、CC メッセージの Nord Drum 3P のチャンネル・フォーカスを送受信するために使われます。これにより、グローバル MIDI チャンネルで、パラメーターの変更を記録し、受信することができます。

たとえば、ノイズ・パートの Filter Frequency コントロールは、CC ナンバー 14 に設定されています。この CC ナンバーは、Nord Drum 3P のすべてのチャンネルで同じです。右側のチャンネル・セレクトボタンを 3 回押し、Nord Drum 3P でチャンネル 4 を選択すると、グローバル MIDI チャンネルで CC70、値 71 を送信します (チャンネル 4 が MIDI を送受信するよう設定されます)。

次に、ノイズ・パートの [FREQ] ボタンを押し、ダイヤルを使用して、フィルターの設定を変更します。これにより、CC14 と、設定に対応する値を送信します。記録したトラックを再生する際、そのチャンネルで、Nord Drum 3P はこれらの MIDI メッセージにตอบสนองし、ノイズ・フィルターを変更します。

- ❶ 複数の Nord Drum 3P チャンネルで、同時にパラメーターを変更する場合は、オーバーダビングを使用することもできますが、個別の MIDI チャンネルを使用する方法がより適しています。

記録：個別の MIDI チャンネル

複数の Nord Drum 3P チャンネルで同時にパラメーターをコントロールする必要がある場合は、個別の MIDI チャンネルを使用します。シーケンサーの 1 つのトラックにノートを保存する場合は、ノートにグローバル MIDI チャンネルを使用できます。

- ① シーケンサーの 1 つのトラックでノートをプログラムまたは記録します。トラックはグローバル MIDI チャンネルに設定されます。
- ② コントロールする Nord Drum 3P のチャンネルの、個別の MIDI チャンネルに設定された新しいトラックを作成します。
- ③ 記録したノートを再生すると同時に、Nord Drum 3P パネル上または Nord Drum 3P をコントロールするよう設定された他の MIDI デバイスでパラメーターを変更し、新しいトラックにすべてのパラメーターの変更を記録します。複数のパラメーターを変更する場合は、このコントロール・トラックにオーバーダビングしたものを記録できます。

個別の MIDI チャンネルでのピッチ・コントロール

個別の MIDI チャンネルに設定されたトラックにノートを記録すると、Nord Drum 3P チャンネルのトーン・ピッチを、実際の MIDI ノート・ナンバーを使ってコントロールできます。

※ トーン・ピッチをキーボードのスケールと一致させる場合は、トーン・ピッチ・パラメーターを 60 に設定します。

MIDI コントローラー

MIDI フェーダー・ボックスまたはコントローラーを使って、全 Nord Drum 3P チャンネルのすべてのパラメーターを完全にコントロールできます。この場合、個別の MIDI チャンネルを使用します。Nord Drum 3P の各チャンネルは、専用の MIDI チャンネルに設定されている必要があります。

MIDI コントロール・チェンジ・ナンバーを MIDI ユニットのノブやボタンに割り当てます。MIDI ユニットの MIDI チャンネルの送信が、Nord Drum 3P で設定されている個別の MIDI チャンネルと常に一致している必要があります。

ドラム・キットのシステム・エクスクルーシブ・ダンプを送信する

MIDI システム・エクスクルーシブ・ダンプを使用すると、現在アクティブなドラム・キットをコンピュータやシーケンサーに保存できます。メモリー・ダンプは、MIDI データの受信、保存、送信が可能なシーケンサーまたはフリーの MIDI アプリケーションに記録できます。Windows を使用している場合は、MIDI Ox (www.midiox.com) でこの操作を実行できます。Mac OSX については、Snoize 製品 (www.snoize.com) の Sys Ex Librarian を使用できます。

- ① 受信側が受信可能な状態にあり、Nord Drum 3P の MIDI OUT 端子が、コンピュータに接続されている MIDI インターフェイスの MIDI IN 端子に接続されていることを確認します。
- ② ディスプレイに [5End] と表示されるまで、[SHIFT] ボタンと [MIDI] ボタンを繰り返し押します。
- ③ [DRUM KIT SELECT] ボタンを押すと、送信が開始されます。送信が完了すると、LED ディスプレイに少しの間 [done] と表示

されます。

- ④ 受信側のアプリケーションをチェックして、データが存在することを確認します。ファイルにわかりやすい名前を付けて、ハードドライブの適切な場所に保存します。
- ❶ データを転送しても、Nord Drum 3P のメモリーの内容には影響しません。

ドラム・キットのシステム・エクスクルーシブ・ダンプを受信する

シーケンサーなどの内部から、ドラム・キットをシステム・エクスクルーシブ形式で Nord Drum 3P に送信することができます。Nord Drum 3P でドラム・キットを受信すると、現在ロードされているキットの内容が置き換わります。Nord Drum 3P メモリーにキットは、手動で保存する必要があります。

- ① シーケンサーまたは MIDI アプリケーションが、システム・エクスクルーシブ・パッケージを送信可能な状態にあり、コンピュータの MIDI インターフェイスの MIDI OUT 端子が、Nord Drum 3P の MIDI IN 端子に接続されていることを確認します。
- ② MIDI アプリケーションで送信を開始します。
- ③ 現在選択されているドラム・キットの内容が、システム・エクスクルーシブ・パッケージの内容に置き換わります。
- ④ 必要に応じて、ドラム・キットを Nord Drum 3P のメモリーに保存します。

☞ ドラム・キット・バンク全体を Nord Drum 3P で転送受信するには、Nord Drum 3P Manager アプリケーションを使用します。詳細については、17 ページを参照してください。

Nord Beat 2 アプリ

Nord Beat 2 は、iPad 対応の無償のシーケンサー・アプリケーションで、Nord Drum 3P と併用できるよう設計されています。Nord Beat 2 は、クラシックなステップ・シーケンサーのインターフェイスを内蔵しており、パターンをプログラミングしたり、パターンを組み合わせて曲を構成したりするための、使いやすいグリッドを備えています。App Store からアプリケーションをダウンロードできます。iPad と Nord Drum 3P を MIDI 接続する場合は、お使いの iPad に対応した MIDI インターフェイスが必要です。

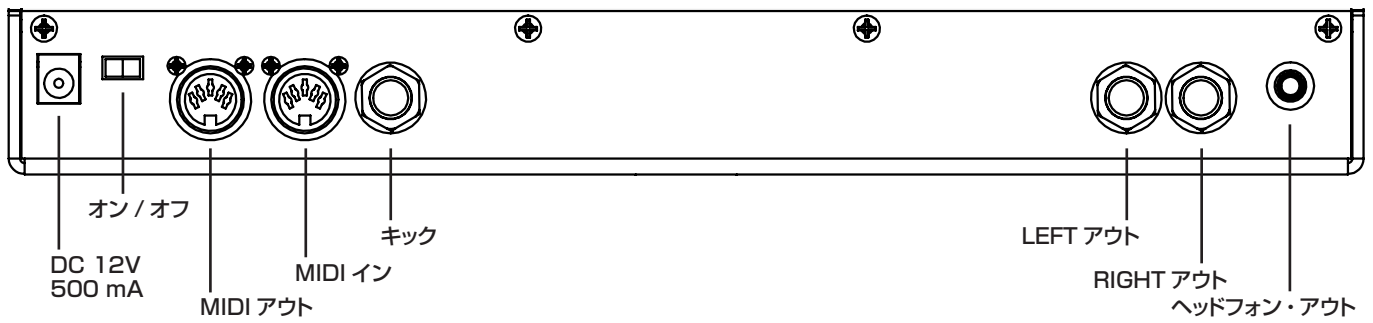
- ❶ Nord Drum 3P のグローバル MIDI チャンネル 10 を使用し、個別の MIDI チャンネルを「オフ」にしてお使いください。



MIDI CC リスト

MIDI CC	パラメーター
0	Bank Select MSB
7	Level
10	Pan
12	Reverb Type
13	Reverb Color
14	Noise Filter Frequency
15	Noise Filter Type
16	Noise Dyn Filter
17	Noise Filter Resonance
18	Noise Level
19	Tone Level
20	Noise Decay Mode
21	Noise Decay
23	Dist Amount
24	Dist Type
25	EQ Frequency
26	EQ Gain
30	Tone Spectra
31	Tone Pitch MSB
32	Bank Select LSB
44	Delay Rate
45	Delay Feedback
46	Tone Wave
47	Delay Amount
48	Reverb Amount
49	Tone Decay Mode
50	Tone Decay
52	Tone Freq
53	Tone Dyn Filter
54	Tone Bend Amount
55	Tone Bend Time
56	Click Level
57	Click Type
59	Mono Group
63	Tone Pitch LSB
70	Channel Select

付録 I: 接続 / 組み立て



オーディオ接続

オーディオ接続の一般的な指針: アンプに電源を入れる前に、必要なすべてのケーブルを接続してください。必ず最後にアンプの電源を入れるようにしてください。また、電源を切る際は、必ず最初にアンプまたはアクティブなスピーカーの電源を切るようにしてください。

ヘッドフォン

1/8 インチのステレオ・ヘッドフォン・ジャック。

Left アウト / Right アウト

アンプやレコーディング機器用の 1/4 インチのアンバランス・ラインレベル入力。Nord Drum 3P は、ステレオ・インストゥルメントで、左右のオーディオ・チャンネルに対して個別の信号経路を備えています。

⚠ Nord Drum 3P を大音量で使用すると、聴力に悪影響を及ぼす恐れがあります。

キック接続

キック・トリガー・ペダルまたはパッド用の 1/4 インチのアンバランス・ラインレベル入力。Nord Drum 3P は、幅広いトリガーとトリガー信号に対応しています。取り付けしているトリガーのダイナミック・レスポンスと感度の設定方法については、12 ページを参照してください。

❶ キック・トリガーは、必ずチャンネル 1 とペアリングしてください。

MIDI 接続

MIDI イン

MIDI IN 端子は、コントローラー、シーケンサー、コンピュータなどの外部デバイスから送信された MIDI データの受信に使用します。オペレーティングシステムをアップデートする際も、MIDI インを使用します。

MIDI アウト

パッドで演奏するデータを記録するため、MIDI OUT 端子を使ってコンピュータやシーケンサーに接続します。パフォーマンスは MIDI ノートとして送信されます。MIDI ノートは、他の MIDI ユニートをトリガーするのにも使用できます。

MIDI アウトは、Nord Drum 3P のプログラムの設定を MIDI 経由で転送するプログラム・ダンブ機能でも使用します。

電源

Nord Drum 3P の電源アダプターは DC12V 500mA 用です。付属の電源アダプターを使用できない場合、必ず、センター・プラス、パレル・タイプのプラグを備えた 12V DC 500mA アダプターを使用してください。プラグの外径は 5.5mm、内径は 2.1mm です。

オン / オフ・スイッチ

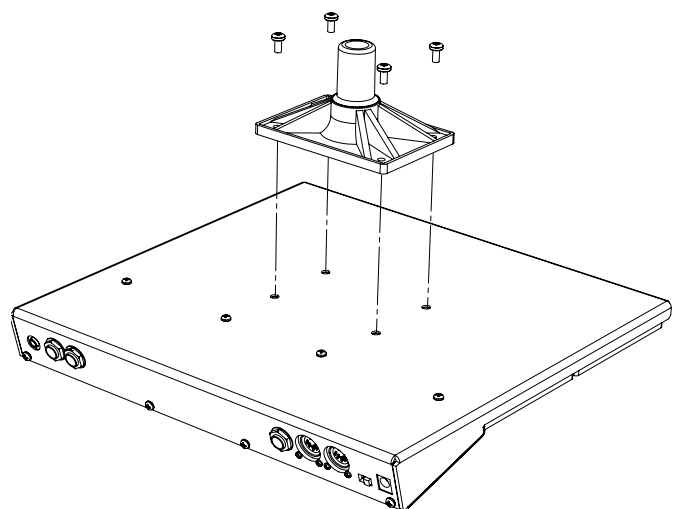
Nord Drum 3P の電源を入れたり、切ったりする際は、オン / オフ・スイッチを使用します。

⚠ 必ず Nord Drum 3P の電源を最初に入れ、最後にサウンド・システムの電源を入れてください。ユニットの電源を切る際は、この逆の順番で行ってください。

スタンド・ホルダーを取り付ける

付属のスタンド・ホルダーとネジを使用して、Nord Drum 3P をクランプ付きスタンドに取り付けることができます。直径 23mm (0.9 インチ) で、ほとんどの汎用クランプに適合します。

下の図を参考に、スタンド・ホルダーと 4 本のプラス・ネジを取り付けます。



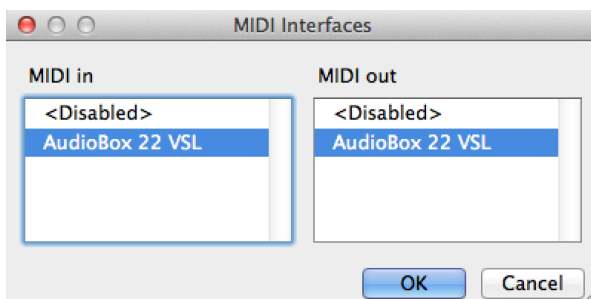
付録 II : Nord Drum 3 Manager



Nord Drum 3 Manager は、ドラム・キットのバンクやドラムを Nord Drum 3P で転送受信できるフリー・アプリケーションです。

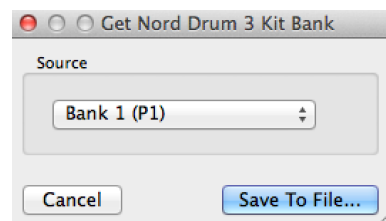
アプリケーションは、www.nordkeyboards.com の Nord Drum 3P セクションからダウンロードできます。対応するオペレーティング・システムは、Windows XP、Vista、Windows 7/8/10、Mac OSX 10.6 以降です（2016 年 12 月現在、仕様は予告なく変更されることがあります）。

コンピュータと Nord Drum 3P の間の通信に、MIDI インターフェイスが必要です。Nord Drum 3P の接続に使用する MIDI インターフェイスとポートをセットアップ・ダイアログで選択します。



ドラム・キット・バンクを取得する

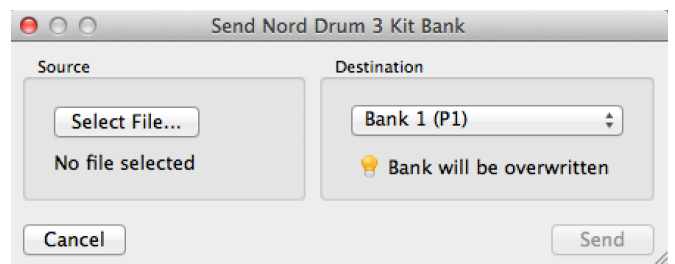
[KIT] の「Get Bank」コマンドを使用すると、ドラム・キット・バンクをコンピュータのハードドライブに保存できます。取り込んだバンクは、全部で 50 のドラム・キットを収容し、.nd3_kitbank ファイルとしてコンピュータのハードドライブに保存されます。



ドラム・キット・バンクを送信する

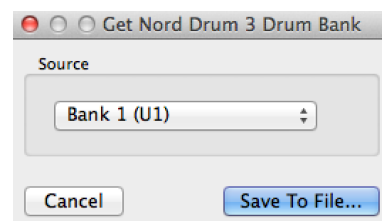
[KIT] の「Send Bank」コマンドを使用すると、ハードドライブ上の .nd3_kitbank ファイルを選択し、送信先を選択して、バンクを Nord Drum 3P に転送できます。

❶ 送信先のバンク内のドラム・キットは上書きされます。



ドラム・バンクを取得する

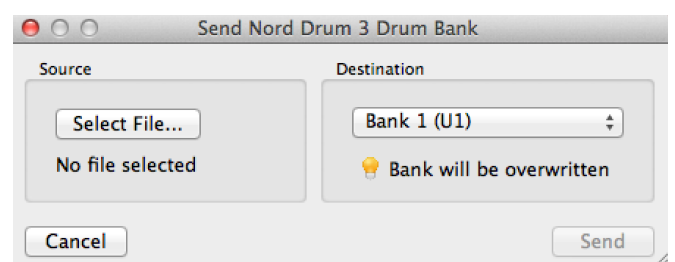
[DRUM] の「Get Bank」コマンドを使用すると、ドラム・サウンドをコンピュータのハードドライブに保存できます。取り込んだバンクは、全部で 50 のドラム・キットを収容し、.nd3_drumbank ファイルとしてコンピュータのハードドライブに保存されます。



ドラム・バンクを送信する

[DRUM] の「Send Bank」コマンドを使用すると、ハードドライブ上の .nd3_drumbank ファイルを選択し、送信先を選択して、バンクを Nord Drum 3P に転送できます。

❶ 送信先のバンク内のドラム・サウンドは上書きされます。



付録 III：索引

B

BEND 9
BPM 11

C

CC 15
CC (コントロール・チェンジ) 12
CH LEVEL 10
Ch (MIDI チャンネル) 12
CH SELECT ボタン 4
COLOR 11
COPY ボタン 11

D

DECAY、トーン 9
DECAY、ノイズ 8
DELAY 11
DIST 10
DRUM KIT SELECT ボタン 5, 6
DRUM SELECT ボタン 5, 6
DYN FILTER、トーン 9
DYN FILTER、ノイズ 8
Dy (ダイナミクス) 12

E

EDIT ALL CH ボタン 7
EQ 10
EQ FREQ 10
EQ GAIN 10
EXIT ボタン 5, 11

F

FEEDBACK 11
FILT TYPE 7
FM 9
FREQ、トーン 9
FREQ、ノイズ 8

G

GL (グローバル MIDI チャンネル) 12

I

INIT SOUND ボタン 13

L

Left アウト 16
LEVEL、クリック 10
LOWER PARAM ボタン 5, 7
Lo (ローカル・コントロール) 12

M

MIDI 12
MIDI アウト 16
MIDI イン 16
MIDI コントローラー 14
MIDI チャンネル 12
MIDI ノート 12
MODE、トーン、DECAY 9
MODE、ノイズ、DECAY 8
MONO GROUP ボタン 7

N

NOISE LVL 10
Nord Beat 2 15
Nord Drum 3 Manager 17

nt (MIDI ノート) 12

O

OS、アップデート 13

P

PAD MODE 12
PAD SENS 13
PAD THRES 12
PAN 10
PANIC ボタン 7
PASTE ボタン 11
PC (プログラム・チェンジ) 12
PITCH 9
PL (パッド・レイアウト) 12
Pr (メモリー・プロテクト) 11

R

RATE 11
RESONANCE 7
REVERB 10
Right アウト 16

S

SCL PRE 10
SHIFT/EXIT ボタン 5
SHIFT ボタン 5
SOLO PART ボタン 7
SPECTRA 8
STORE DRUM ボタン 6
STORE KIT ボタン 6
SWAP ボタン 11
SYSTEM 11

T

TAP BPM ボタン 5, 11
TIME、BEND 9
TONE LVL 10
TRIG/TAP BPM ボタン 11
TYPE、DIST 10
TYPE、REVERB 11
TYPE、クリック 10
Ty (パッド・モード・タイプ) 12
T ブリッジ・オシレーター 9

W

WAVE 8

あ

エクスポネンシャル (ディケイ・モード) 8, 9
オーディオ接続 16
オーバードライブ 10
オン/オフ 16

か

キック (PAD MODE) 12
キック (PAD THRES、PAD SENS) 12
キック接続 16
矩形波 9
クリック 10
グローバル MIDI チャンネル 12, 14
グローバル設定 11
ゲート (ディケイ・モード) 8
個別の MIDI チャンネル 14
コントロール・チェンジ 12

さ

サイン波 9
三角波 9
サンプル・レート・リダクション 10
シーケンサー 14, 15
16 分音符 (BPM) 11
受信 14
受信 (ドラム・キット) 15
シンバル 9
スタンド・ホルダー、取り付け 16
スティックで演奏 (パッド・モード・タイプ) 12
接続 16
送信 (ドラム・キット) 14

た

ダイアル 4
ダイナミクス 12
ダイナミック・ディケイ (トーン) 9
ダイナミック・ディケイ (ノイズ) 8
手で叩いて演奏 (パッド・モード・タイプ) 12
電源 16
トーン 8
ドラム 6
ドラム・キット 6
ドラム・キット/バリュウ・ディスプレイ 5
ドラム・キット・バンクを取得する 17
ドラム・キット・バンクを送信する 17
ドラム・バンクを取得する 17
ドラム・バンクを送信する 17
トリガー LED 5
トリガー/モノ LED 4

な

ノイズ 7
ノコギリ波 9

は

ハーモニック・レゾナンスのモデリング 9
ハイパス・フィルター 7
8 分音符 (BPM) 11
パッド・フォロー 6
パッド・モード・タイプ 12
パッド・レイアウト 12
パネル 4
パラメーター・ボタン 5
バリュウ・ディスプレイ 5
パルス波 9
パンチ (ディケイ・モード) 9
ピーク/フォーカス LED 4
ピッチ・コントロール (MIDI) 14
プログラム・チェンジ 12
ヘッドフォン 16

ま

マスター・レベル 5
メモリー・プロテクト 6, 11

ら

リニア (ディケイ・モード) 8, 9
リング・モジュレーション 10
レゾナンスのモデリング 9
ローカル・コントロール 12
ローパス・フィルター 7

